



菅沢ダム完成50周年

ダム利活用の歴史と
記念行事のお知らせ

①昭和58年には、恵まれた自然環境をフルに活用した地域ぐるみのリゾートタウンづくりを目指して、ダム湖東岸にサイクリングコースと遊歩道が整備された。

②ピーク時には1200名が参加した「にちなん湖畔マラソン」では、タライアスロンなる競技も行われた。

菅沢ダム50年の歩み

1964年 (S39.12)	建設省の斡旋により本山・中原両集落の移転が始まる。昭和41年3月の移転完了までに米子市彦名町(約20世帯)を筆頭に、同市灘町、日野町へ約50世帯が移住した。
1965年 (S40.5)	本体工事が着工。予定総事業費は約30億円。
1968年 (S43.5)	菅沢ダム竣工式(3月31日)ダム本体工事竣工。
1978年 (S53.7)	宝谷子ども会が錦鯉3万匹を放流。(幼魚は日野町黒坂宮原巧味さんからの寄付。)
1983年 (S58.7)	ダム湖東岸にサイクリングコースと遊歩道が完成。
1984年 (S59.6)	第1回にちなん湖畔マラソンが開催。平成16年に終了するまで29回が開催された。
1998年 (H10.10)	30周年記念式典開催。菅沢ダム展示資料室の開設。

50周年記念イベント案内

1. 記念式典(内容は次号にてお知らせ)

日時 11月11日(日) 10:15から
11:00まで(受付9時30分~)

場所 総合文化センター「さつきホール」

2. 記念式典出席者限定イベント(11/11)

- (1) 菅沢ダム50周年記念式典限定のプラチナダムカードのプレゼント!
- (2) 記念式典終了後、カレーライスを無料でご提供!(限定300食)

3. 無料バスツアー(11/11)(事前申込制)

- 12:15 受付開始(総合文化センター)
- 12:30 総合文化センター出発
- 12:40 菅沢ダム見学
- 14:10 王子製紙(株)米子工場見学
- 16:10 総合文化センター着、解散

【参加申込・お問合せ先】

役場企画課 82-1115

【バスツアー主催】国土交通省、日南町

県下最大のダム建設と集落移転
菅沢ダムは県下最大の多目的ダムで、洪水被害の軽減、かんがい用水の補給、工業用水の確保、発電などを目的として約30億円の事業費を投じて建設省(現国土交通省)が整備し、昭和43年9月に完成しました。建設にあたり、本山・中原両集落の約50世帯が町外へ移住することに

「ダムカード」が登場。ダムカード
ダム観光をめぐる新たな動き
〜ダムカードとダムカレー〜
平成19年にはカード式パンフレット

なりました。
ダムの観光活用による地域振興
昭和54年からダム周辺の環境整備が始まり、同58年にダム湖東岸の町道湖畔にサイクリングコースや遊歩道が整備され、同59年から、にちなん湖畔マラソンが始まりました。同マラソン大会は千人を超えるランナーを集める町の恒例行事となりました。しかし、平成13年に100キロマラソンが始まると参加者が激減、第29回(平成16年)をもって幕を閉じました。

収集という新たなダム巡りの楽しみが生まれました。これによりダムを訪れる人が多くなり、ダム周辺の飲食店ではダムを題材にした「ダムカレー」が次々と商品化され、一大ブームとなっています。本町でも道の駅でメニュー化され、人気を博しています。また、菅沢ダム管理支所と大宮まちづくり協議会が連携した大宮里山まつりも恒例の行事となっています。



↑ダムカレー(道の駅にちなん)菅沢ダム50周年記念カード↓

